

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2006-34732 (P2006-34732A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-006
 【出願番号】特願 2004-220915 (P2004-220915)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 25 日 (2007.7.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

開閉部材により開放および閉止される役物内入球口と、その役物内入球口から入球した遊技球が入賞可能な特定領域と、上記役物内入球口から上記特定領域に至る遊技球通過経路内に、遊技球の挙動に影響を与えるステージとを有し、上記役物内入球口に遊技球が入球しかつその入球した遊技球が上記特定領域に入賞することで、非特別遊技状態から遊技者に有利な特別遊技状態に移行する遊技機において、

上記ステージは、遊技球案内方向とは交差する方向に、複数に分割されており、各分割部のうち少なくとも 1 つの分割部は上下方向に揺動しうることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

上記ステージは 2 分割されて、遊技球案内方向の上流側から第 1 揺動部材と第 2 揺動部材とを構成し、かつ、各揺動部材は、遊技球案内方向とは交差する方向に設けられた 2 つの軸を中心に各々独立して揺動する、請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

上記第 1 揺動部材は略中央に軸が配置される一方、第 2 揺動部材は遊技球案内方向の下流端近傍に軸が配置され、第 1 揺動部材における遊技球案内方向の下流端側が下方に位置するように第 2 揺動部材を揺動させる一方、第 2 揺動部材における遊技球案内方向の上流端側が上方に位置するように第 2 揺動部材を揺動させることにより遊技球停留状態を出現させる、請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

駆動源と、この駆動源により駆動される回動体とを有すると共に、上記第 1 揺動部材と第 2 揺動部材とは、各々案内溝が形成されており、これら案内溝に上記回動体に設けられた突起が緩やかに嵌まり込んでいる、請求項 2 又は 3 に記載の遊技機。